

4 1人1台端末の利活用に係る計画

(1) 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

「令和の日本型教育」の構築を目指し、全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、具体的にはデジタルツールやオンライン学習等が活用できる環境を整備します。また、思考力・判断力・表現力等を身に付けるため、協働学習支援ツールを活用して学習を進めることにより、多様な考えに触れながら、問題解決能力や発想力を養います。さらに、効果的な情報教育を実現していくために、情報リテラシーを基盤とした授業を展開し、データ分析や AI 等を活用して PDCA を実践していきます。これらにより、子供たちが未来の社会で必要な情報活用能力を身に付け、グローバルな競争社会に適応できるよう努めます。

(2) GIGA 第1期の総括

GIGA 第1期では、GIGA スクール構想の実現に向けて、校内高速大容量ネットワーク、1人1台端末や指導者用端末及び周辺機器等の ICT 環境を整備してきました。環境整備を急速に進めた結果、学校間、教職員間で授業場面における端末等の活用頻度に差が生じてしまいました。このような状態を解消するため、ICT 支援員の派遣や研修会を定期的に行い、活用事例を各学校で共有することにより、教職員及び児童・生徒の活用スキル、活用に対するモチベーションが向上しました。

GIGA 第2期では、さらなる活用を目指し、各学校へのヒアリングを定期的に行い、これまで進めてきた内容を、教職員や児童・生徒がより積極的に活用できるよう継続的に支援していきます。そして、教育委員会の ICT 担当を各学校へ派遣し、授業や校務における効率的な活用方法を周知するとともに、諸問題を早期に解消できるよう情報共有体制を強化していきます。

(3) 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末を日常的に利活用するため、まずは、クラウドツールを活用することで活用事例を教職員がいつでも確認できるよう環境を整備するなど、教職員へ効果的な端末の活用方法に関する情報を継続して提供していきます。

児童生徒が「自分で調べる場面」「自分の考えをまとめ、発表・表現する場面」「児童・生徒同士や教職員とやりとりする場面」等において、積極的に1人1台端末を活用できるよう、教育委員会 ICT 担当が学校を定期的に訪問し、教職員へ活用等の助言を実施していきます。児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題が取り組めるよう、学習支援ツールによる復習や効果的なドリルアプリの活用を推進します。また、全ての児童生徒の学びを保証するため、不登校児童生徒、日本語指導が必要な児童生徒や障がいのある児童生徒に対して、学習機会を確保するため、1人1台端末を活用した教育相談や希望する児童生徒へオンライン授業等を展開していきます。

項目	KPI	目標値（年度）
1人1台端末の整備	1人1台端末を常時活用ができるよう、十分な予備機を整備しているか。	100%（R8）
校務のデジタル化	FAXでのやり取り・押印を原則廃止した学校の率	100%（R7）
	校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業を一掃した学校の率	100%（R7）
	クラウド環境を活用した校務DXを積極的に推進している学校の率	100%（R8）
1人1台端末の積極的活用	情報通信技術支援員（ICT支援員）の配置	現状維持
	1人1台端末を週3回以上活用する学校の率	小：100%（R8） 中：100%（R8）
	デジタル教科書を実践的に活用している学校の率	100%（R10）
個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：100%（R8） 中：100%（R8）
	児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：100%（R8） 中：100%（R8）
	教職員と児童生徒がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：100%（R8） 中：100%（R8）
	児童生徒同士がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：100%（R8） 中：100%（R8）
	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：100%（R8） 中：100%（R8）
学びの保障	希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校の率	100%（R8）
	希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校の率	100%（R8）
	外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に端末を活用している学校の率	100%（R8）
	障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校の率	100%（R8）